

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【公開番号】特開2003-225434(P2003-225434A)

【公開日】平成15年8月12日(2003.8.12)

【出願番号】特願2002-27389(P2002-27389)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	7/02	3 2 4 C
A 6 3 F	7/02	3 0 4 Z
A 6 3 F	7/02	3 3 2 B
A 6 3 F	7/02	3 3 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月27日(2008.2.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】 遊技媒体を用いて所定の遊技を行うことが可能であり、遊技により払出条件が成立したことにもとづいて景品としての景品遊技媒体を払い出す遊技機であって、

遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

前記景品遊技媒体の払い出しを行う払出手段と、

前記払出手段を制御する払出手制御手段と、

前記払出手段により払い出された景品遊技媒体を検出する遊技媒体検出手段とを備え、

前記遊技制御手段は、前記払出条件の成立にもとづいて前記払出手制御手段に対して景品遊技媒体の払出数を特定可能な払出指令信号を継続的に出力し、

前記払出手制御手段は、前記払出指令信号にもとづいて前記払出手段を制御して景品遊技媒体の払出処理を実行し、

前記遊技媒体検出手段からの検出信号は、前記払出手制御手段に入力され、

前記払出手制御手段は、前記遊技媒体検出手段からの検出信号の入力状態を監視して前記払出指令信号で特定された払出数の景品遊技媒体が払い出されたか否かを判定する払出数判定手段と、該払出数判定手段により前記払出指令信号で特定された払出数の景品遊技媒体が払い出されたと判定された場合に払出処理が完了したことを示す払出完了信号を遊技制御手段に対して出力する払出完了信号送信手段とを含み、

前記遊技制御手段は、前記払出完了信号を受信したことにもとづいて継続的に出力されている前記払出指令信号の出力を停止する払出指令信号停止手段を含む

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

【課題を解決するための手段】

本発明による遊技機は、遊技媒体を用いて所定の遊技を行うことが可能であり、遊技により払出条件（例えば、遊技領域に設けられた入賞領域への入賞があったときに成立する

条件、スロットマシンにおいて予め定められた所定の表示態様での表示が表示装置になされたときに成立する条件)が成立したことにもとづいて景品としての景品遊技媒体を払い出す遊技機であって、遊技の進行を制御する遊技制御手段(例えば、CPU56を含む遊技制御手段、図43に示す遊技制御手段561)と、景品遊技媒体の払い出しを行う払出手段(例えば球払出装置97、図43に示す払出手段97a)と、払出手段を制御する払出手段(例えば、払出手段用CPU371を含む払出手段、図43に示す払出手段371a)と、払出手段により払い出された景品遊技媒体を検出する遊技媒体検出(例えば払出手段用カウントスイッチ301、図43に示す遊技媒体検出手段501)手段とを備え、遊技制御手段は、払出手段の成立にもとづいて払出手段に対する景品遊技媒体の払出手数を特定可能な払出手指令信号(例えば払出手数信号およびREQ信号、図43に示す払出手信号)を継続的に出力(例えば、ステップS194およびステップS195にてオン状態とし、その後は継続してオン状態を維持することを意味する。)し、払出手手段は、払出手指令信号にもとづいて払出手段を制御して景品遊技媒体の払出手処理(例えば図36および図37に示す賞球制御処理、図43に示すステップS757aの払出手処理)を実行し、遊技媒体検出手段からの検出信号は、払出手手段に入力され、払出手手段は、遊技媒体検出手段からの検出信号の入力状態を監視して払出手指令信号で特定された払出手数の景品遊技媒体が払い出されたか否かを判定(例えばステップS547)する払出手数判定手段(例えば、払出手手段用CPU371を含む払出手手段、図43に示す払出手数判定手段371b)と、払出手数判定手段により払出手指令信号で特定された払出手数の景品遊技媒体が払い出されたと判定された場合に払出手処理が完了したことを示す払出手完了信号(例えばBUSY信号をハイレベルからローレベルに立ち下げることで出力される賞球払出手完了信号)を遊技制御手段に対して出力する払出手完了信号送信手段(例えば、払出手手段用CPU371を含む払出手手段、図43に示す払出手完了信号送信手段371c)とを含み、遊技制御手段は、払出手完了信号を受信したことにもとづいて継続的に出力されている払出手指令信号の出力を停止(例えば、オン状態が維持されていた信号を、ステップS385およびステップS386にてオフ状態とすることを意味する。)する払出手指令信号停止手段(例えば、CPU56を含む遊技制御手段、図43に示す払出手指令信号停止手段562)を含むことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0269

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0269】

【発明の効果】

以上のように、請求項1記載の発明によれば、遊技制御手段が、払出手手段の成立にもとづいて払出手手段に対する景品遊技媒体の払出手数を特定可能な払出手指令信号を継続的に出力し、払出手手段が、払出手指令信号にもとづいて払出手手段を制御して景品遊技媒体の払出手処理を実行し、遊技媒体検出手段からの検出信号は、払出手手段に入力され、払出手手段が、遊技媒体検出手段からの検出信号の入力状態を監視して払出手指令信号で特定された払出手数の景品遊技媒体が払い出されたか否かを判定する払出手数判定手段と、払出手数判定手段により払出手指令信号で特定された払出手数の景品遊技媒体が払い出されたと判定された場合に払出手処理が完了したことを示す払出手完了信号を遊技制御手段に対して出力する払出手完了信号送信手段とを含み、遊技制御手段が、払出手完了信号を受信したことにもとづいて継続的に出力されている払出手指令信号の出力を停止する払出手指令信号停止手段を含むことを特徴とするので、遊技制御手段と払出手手段との間の払出手数に関する認識誤差が生じる可能性が低減されるという効果を有する。